



ねん くみ ()

「かんきょうはかいが すすんでいます。よけいな ゴミを
ださないように きをつけましょう。」

マサルは がっこうで、そう ならいました。

「たしかに、よけいな ゴミを ふやしてしまうことって、
よく あるな。ゴミを へらせば、ゴミを もやさなくて
すむのだから、かんきょうに いいのだな。」

マサルは、いえにかえると、さっそく ゴミを なくす
ための とりくみを はじめました。ぎゅうにゅうパックを
きりにとって、はちうえに してみました。スーパーの ゴミ
ぶくろを かわいく いろづけして、2かい、3かいと つ
かえるように しました。

「これでよし！」

リビングへ いくと、おとうさんが ほうそうしで おか
しの はこを つつんでいるところでした。1まい、2まい
—なんと、3まいも つつんでいるでは ありませんか。

「おとうさん！ どうして、ほうそうしで つつむの？ ゴ
ミに なっちゃうんじゃないの？」

「つつむことには、たいせつに している、まもるというい
みがあるんだよ。にほんの むかしからの でんとうな

んだ。こうやって つつむと、ていねいに しているきも
ちが つたわるだろう？ さあ、マサルも そのはこを
つつんでくれないか。」



マサルは、おかしの はこを つつむべきでしょうか。あな
たの かんがえと りゆうをかきましょう。

<p>.....</p> <p>.....</p>

はなしあって かんがえたことを かきましょう。

<p>.....</p> <p>.....</p>
